

現在の道路行政に対する認識

経済社会システムの大きな転換期

- ・「失われた10年」
 - 長期にわたる景気低迷とデフレ
 - 産業の空洞化と国際競争力の低下
 - 税収の減収による財政の硬直化
- ・ 少子高齢化の進展
 - 生産年齢人口の減少
 - 税・年金など国民負担率の増大
- ・ 環境問題の深刻化
 - CO2削減など地球温暖化防止への取り組みの急務
 - 大都市圏を中心に沿道環境は厳しい状況

国民意識の大きな変化。道路行政に対する厳しい目。

- ・ 身近な暮らしの質の向上と個性ある地域形成
 - 歩道、生活道路、電線類の地中化等の整備に関心が移行
 - 全国画一的な整備に対する反発
 - 地域のニーズに合わせた道路の使い方
- ・ 道路整備をはじめとする公共事業に対する不信感
 - 計画の決定や事業採択、事業費配分が不透明
 - 無駄な事業を高コストで非効率に実施

道路に求められるサービスの「質」の変化
道路政策の進め方に対する透明性・効率性の要請

柔軟かつ大胆な発想で今後の道路政策や行政手法を検討することが必要

- (例)・長期計画のあり方(いつまで整備を進めるのか)
- ・ エンドユーザーの満足度を高めるための新たな評価システム・住民参加スキーム等行政運営システムのあり方
 - ・ 国と地方の役割分担、有料道路政策、道路特定財源制度等道路政策の推進に係る制度のあり方

【近年の道路行政に対する批判（例）】

無駄な事業を、無理して、非効率に行っているのではないか

- ・もう道路は十分ではないか。
- ・無駄なものを作っているのではないか（都市部においては交通渋滞が一向に解消しないにもかかわらず、地方部では交通量が少ない区間について道路整備が行われているのはなぜか）。
- ・事業費が高すぎるのではないか。
- ・特に都市部において事業進捗がこれほど遅いのはなぜか。
- ・有料道路が多すぎるのではないか。
- ・高速道路料金は高すぎるのではないか。そもそも東名・名神は既に償還しているはず。なぜ無料にならないのか。
- ・都市高速は渋滞しているのになぜ料金を取るのか。短い距離も長い距離もなぜ均一料金なのか。

どこまで道路をつくるつもりなのか

- ・道路整備を行っても地域、暮らし、環境はよくなるのではないか。
- ・将来の最終的な道路ネットワークはどうなるのか（長期的視点が欠如しているのではないか）。
- ・特定財源があるから道路を作り続けるのではないか。

縦割り行政ではないか

- ・国道と農道が近接しているのは無駄ではないか（事業間調整（横の調整）がなされていないのではないか）。
- ・公共交通との役割分担を考えた道路計画とすべきではないか。
- ・特定財源を道路以外の交通機関整備、あるいは、地球環境対策に使ってもいいのではないか。

環境に本当に寄与する施策を展開しているのか

- ・道路を整備しても結局車が増えて環境はよくなるのではないか。
- ・道路を整備するより公共交通を整備した方が環境にいいのではないか。
- ・都市部において自動車（トラック）の流入を規制すべきではないか。
- ・税金の大半は都市部で納められているのに、そのほとんどは地方の道路整備にまわされているのではないか。

地方や地域住民の意志が無視されているのではないか

- ・道路計画策定時にもっと透明性を確保し、計画策定時点から住民参加を図るべきではないか。
- ・補助金で地方をコントロールしているのではないか。
- ・国の施策を押しつけて地方の自主性を損ねているのではないか。
- ・国と地方の関係を見直すべきではないか。

【長期計画を取り巻く周辺状況】

新道路整備五箇年計画の概要

道路整備緊急措置法に基づき、道路を緊急かつ計画的に整備するため策定

計画期間は、平成10年度から平成14年度

策定にあたっては、

道路審議会建議「道路政策変換への提言～より高い社会的価値をめざして～」

パブリック・インボルブメント（国民参加）方式による全国約13万人からの道路政策への意見

道路や地域づくりをテーマにした懇親会での意見（63地域195回に延べ約3,000人が参加）

地域経済界等からのこれからの地域・まちづくりを支える道路整備の方向性を示すビジョン・提言

都道府県や市町村が作成した地域の道路整備五箇年計画要望

を踏まえるなど幅広い意見を反映

目 標

- (1) 新たな経済構造実現に向けた支援のための道路整備の推進
- (2) 活力ある地域づくり・都市づくりの支援のための道路整備の推進
- (3) よりよい生活環境の確保のための道路整備の推進
- (4) 安心して住める国土の実現のための道路整備の推進

五箇年間で総額78兆円を道路整備に投資

うち国が行う道路の整備及び国の負担金その他の経費の交付等 約46兆円

経済財政諮問会議

「構造改革と経済財政の中期展望」（関係部分抜粋）

（平成14年1月25日閣議決定）

- ・各計画の必要性そのもの見直し
- ・計画策定の重点を、従来の「事業量」から計画によって達成することを目指す成果とすべき
- ・道路等の「特定財源」についてその在り方を見直し

道路事業を取り巻く周辺状況

1 . 「新道路整備五箇年計画」(平成10年度～14年度)について	1
(1) 閣議決定(平成10年5月24日)	1
(2) 「新道路整備五箇年計画」の概要	4
主要課題	4
基本的方向	4
投資規模	5
主要課題別の投資額	5
(3) 「新道路整備五箇年計画」の整備目標	6
(4) 暫定税率について	9
2 . 経済財政諮問会議における議論	11
3 . 公共事業関係の長期計画一覧	13
4 . 海外における長期計画一覧	14
5 . 道路整備に関する世論調査	15
今後の道路整備の重点	15
一般道路における渋滞	16
道路や自動車の通行による迷惑	16
道路や自動車の通行による迷惑の内容(2001年)	17
国道など幹線道路の満足度	17
高速道路の拡充の必要性	18
今後の道路整備のバランス(2001年)	18